



1 生物資源有効活用研究会

三重大学(生物資源学研究所) 梅川 逸人 教授
天然資源の医薬品、化粧品への利用、機能性食品への応用等に関する研究(全体会に加え、小グループによる分科会活動も実施)

2 医用工学研究会

三重大学(工学研究科) 稲葉 忠司 教授
材料の特性を生かした製品製作のアプローチに加え、医療機器への展開も含めた製品開発に関する研究

3 福祉用具・ものづくり研究会

鈴鹿工業高等専門学校(機械工学科) 白井 達也 准教授
利用者のニーズ等を考慮した福祉用具・機器の技術開発に関する研究及び福祉・医療・健康分野のニーズに合った製品づくりに関する研究

4 薬事研究会

三重県工業研究所 医薬品研究センター 池田 淳一 センター長
4分科会(薬事工業に特化した研究会です。)
●GMP・法規研究会 ●医薬品製剤研究会 ●医薬品等品質管理研究会 ●微生物研究会

5 電子システム研究会

三重大学(地域イノベーション学研究所) 鶴岡 信治 教授
電子工学、情報工学を中心とした医用検査・診断支援システム及び医療情報管理システムを実現するための産学官連携の実践的な研究開発

7 センシング技術実用化研究会

三重大学(生物資源学研究所) 橋本 篤 教授
光を中心としたセンシング技術を医学的診断、薬剤・食品製造、およびその原材料生産現場に適用・実用化する現場対応型の研究プロジェクト作りを行う。

9 環境健康学研究会

三重大学(伊賀研究拠点) 山本 好男 教授
環境中へ排出される化学物質が健康や生態系に及ぼす影響を検討し、PRTRデータ等の情報伝達に係る地方自治、企業、大学、市民団体の役割、関わりを研究する。

みえメディカル研究会のご案内

会長 鈴木宏治 (三重大学副学長)

会員募集中!!

「みえメディカル研究会」は大学、公設試験研究機関、企業、NPO、県民および行政が参加して、医療・健康・福祉分野の産学官民連携による研究開発や技術開発を目指しています。平成22年4月現在、会員数は700名(延べ人数)を超え、活発な活動を行っています。

お申込み・お問合せは

(株)三重ティーエルオー (TEL059-231-9822)へ

6 地域資源活用研究会

三重大学(教育学部) 兼本 秀樹 教授
天然資源のみに留まらず、地域にある資源を掘り起こし活用する方法をテーマとする。産学官および民間の地域の人材と交流する機会としても、本研究会の活動を進める。(旧:みえ尾鷲海洋深層水利用促進研究会)

8 健康増進プログラム研究会

三重大学(教育学部) 富樫 健二 教授
地域で行われている様々な健康増進のための取り組みを紹介および評価し、新たなサービスを創出するべく研究会を開催する。産学官民を対象にした人的交流の場としても研究会を活用する。(旧:健康ツーリズム研究会)

10 腫瘍薬学研究会

鈴鹿医療科学大学(薬学部) 川西 正祐 教授
医療・健康・福祉の多角的な視点から、がん予防に役立つ健康食品の開発、がん治療に寄与する薬の開発、臨床薬学における系統的・斬新的ながん患者ケアの向上をめざした「腫瘍薬学」研究を産学官民が連携して行う。

11 健康食品製造GMP研究会

鈴鹿医療科学大学(保健衛生学部) 長村 洋一 教授
厚生労働省から出された「健康食品の安全性確保に関する検討会」報告書に基づいて安全性認証の必須事項としてGMPが取り上げられました。そこで、健康食品GMPの研究会を開催します。

12 産業看護学研究会

四日市看護医療大学(看護学部) 後藤 由紀 講師
働く人々の健康の保持・増進ならびにQOLの向上、企業の生産性向上に貢献するための産業看護職のスキルアップについて研究する。

※1 統合医療研究会については、今年度も継続して開催しますが、お問合せは(株)WAAA(TEL:0596-53-1251)へお願いします。
※2 三重ゲノム創薬フォーラム研究会については、平成21年度で終了しましたが、引き続き、大学で実施されます。お問合せは、三重大学大学院医学系研究科薬理ゲノミクス(TEL:059-231-5411)へお願いします。

「事業仕分け」が流行語になりましたが、メディカルバレーも今年度自ら事業仕分けを行います。23年度からスタートする第3期実施計画を策定する1年となります。関係者の皆様のご協力を。(gao)

一口にジャムといっても、糖度や添加物の違い、煮詰め方などで風味も異なります。また、イチゴやりんごなど果実のほかに、最近ではトマトやにんじんなどの野菜ジャムもあります。なかなか奥が深いものです。(男前)

新しい年度を迎え、心新たにしています。MV第2期最終年度として楽しんでいただける事業展開を進めていくよう頑張りますので、ご覧の皆様も是非ともご参加ご協力をお願いします。(NH)

担当をしている補助事業から新しい商品が出てくるのは、他人事ながらうれしくなります。で、我が身を振り返ってみると、新しいスベックも増えず、型落ち商品といったところ。不要品と仕分けられないように努力をしないと…(Sr)

今年度、情報発信の担当になりました。この一年、皆様にとって実のある情報を発信できるようがんばります。また、通信やHP、メールマガジンなどへの掲載を希望される方は、ぜひ私までとご連絡ください。(ヨ)

新採職員として今年度の4月から配属になりました。社会人としてもまだまだ未熟ですが、メディカルの一員としてがんばってまいりますので、よろしくお願いたします。(田上)

編集後記

発行 三重県健康福祉部業務食品室
メディカルバレー推進グループ
〒514-8570 三重県津市広明町13番地
TEL:059-224-2331 FAX:059-224-2344
e-mail:yakumus@pref.mie.jp

メディカルバレープロジェクトホームページ
http://www.mvp.pref.mie.jp/
みえ福祉用具産業支援ネットワークホームページ
http://www.fynet.pref.mie.jp/

医薬品安全情報提供システムホームページ
http://www.medsafe.pref.mie.jp/
三重県薬事工業情報提供システム(PIIS)ホームページ
http://www.piis.pref.mie.jp/

Medical Valley Forum 2010
食と健康
~美し国からの提言~
開催レポート
講演会
セミナー
ハンドマッサージハーブ演奏
シンポジウム
展示会

